

特
別
展

はくおうき 薄桜鬼 刀剣録

～幕末維新の刀剣展～



会期

平成29年 7月15日(土)～10月1日(日)

9:00～17:00 最終入場16時30分まで

場所

岡崎城・三河武士のやかた家康館 愛知県岡崎市康生町561番地1(岡崎公園内)

TEL.0564-24-2204(家康館)

入館料

(2館共通チケット) 大人(中学生以上) 510円、小人(5歳以上) 270円

主催 / 一般社団法人岡崎パブリックサービス、一般社団法人全日本刀匠会事業部 企画協力 / アイディアファクトリー株式会社

後援 / 岡崎市、岡崎市教育委員会 協力 / 岡崎美刀会、一般社団法人日本甲冑武具研究保存会東海支部、日本美術刀剣保存協会三河支部

特別展

薄桜鬼 刀剣録

～幕末維新の刀剣展～

約150年前、日本の方向性を大きく変えた明治維新。幕末から維新にかけて大変革ののち、列強に翻弄されながらも日本は世界に認められていきました。その幕末には様々な事件や戦が起き多くの血が流れました。幕末維新は西洋からの銃器が流入する中、日本刀が最後の華を咲かせた時代でもあります。戦乱の予兆に合わせて武士用には振幅の広い刀身に大きな鋒(きっさき)をした刀剣が作られ、活躍する公家や商人用に細身の太刀姿のものが作られました。明日の未来を切り開くため、個々の信念に基づき駆け抜けた維新の志士たち。刀剣は彼らが最も身近に置き、自らの信念を具現化したものです。彼らと関係の深い名刀たちを、『薄桜鬼』に登場する志士たちを通してご覧ください。そして、様々な事件にかかわった刀剣から懸命に生きた武士の「心」を感じていただき、現代にもつながる伝統工芸の「技」の結晶である日本刀を知る、そのきっかけとなることを企図しています。

○銘切プレート(協力:全日本刀匠会事業部)

刀匠や金工師が、金属プレートに希望の文字(本人、志士の名前など)を彫ります(字数制限あり)

◆開催日時：7月15日(土)～17日(月・祝)、8月11日(金・祝)～15日(火)、8月26日(土)～27日(日)
9月16日(土)～18日(月・祝)、9月30日(土)～10月1日(日)

◆受付：10:00～16:30(数量限定)

◆銘切り料：1枚/500円(銘切りプレート/1,000円)

○日本刀初心者講座

日本美術刀剣保存協会三河支部会員による、日本刀と刀剣外装の解説と鑑賞作法の解説を中心にした初心者向けの講座です。実際に日本刀を手にとって鑑賞していただけます。

◆開催日時：8月20日(日) 13:00～ <2時間30分程度>

◆開催場所：岡崎公園内 異閣

◆参加費用：500円

◆参加資格：18歳以上の方

◆定員：30名

◆受付方法：8月1日(火) 9:00～

三河武士のやかた家康館で電話受付(先着順、定員になり次第締め切り)

◆電話番号：0564-24-2204

○「薄桜鬼 刀剣録」セレクトショップ

薄桜鬼&戦国武将、幕末に関するグッズが一同に集結!お見逃しなく!

■主な展示作品

近藤勇(刀)長曾祢興里入道虎徹、沖田総司(刀)加州住藤原清光、
源 清麿(刀)正行/天保十二年八月日、吉田松陰筆(卷子)名流尺牘「燕都流言録」
桂小五郎筆(掛軸)「五箇条 御誓文 第五条」、錦御旗(岡山藩主池田家)



◆駐車場案内

- ・乗用車...100円/30分(22:00-翌日7:00は50円/30分)
※上限1,500円で24時間ご利用いただけます。
- ・バス...2,000円/1台1回(22:00-翌日7:00は1,000円)
※上限3,000円で24時間ご利用いただけます。



左上：近藤勇、右上：沖田総司
左下：土方歳三、右下：斎藤一

© IDEA FACTORY/DESIGN FACTORY



土方歳三愛刀 越前康継
佐藤彦五郎新選組資料館蔵